

糖尿病は怖くない時代へ

⑤

糖尿病が気になる人にとってこれからの話題といえはちょっと変わった新薬の登場だろう。膵臓に直接働きかけてインスリンを絞り出させる従来の薬と違い、糖分を尿中に積極的に捨てるというまったく新しいやり方で血糖値を下げる。膵臓に優しいこの薬は血糖値だけでなく、体重までも減らせるという。

「そもそも糖尿病とは尿に糖が出るからそう呼んでいたのですが、逆にこの薬は積極的に尿に糖を排出することで血糖値を下げようとするもの。まさに、発想の転換から生まれた薬です」

こういったのは糖尿病専門医で「しんクリニック」(東京・蒲田)の辛浩基院長だ。

薬の名前はスバリ、「SGLT2阻害薬」。

すでに米国では発売されており、日本では年内にも発売される予定だ。

SGLT2とは細胞内外のナトリウムの濃度差を利用して、ブドウ糖を細胞内に取り込むシステムのこと。発現する場所な

糖を尿に捨てて 血糖値を下げる

新薬登場



インスリンとも手が切れる

新しい薬はこうしたリスクを低下させる可能性があるのだ。では新薬はどんな患者に最もメリットがあるのだろうか？

「血糖値だけでなく、体重減少効果もあるため、比較的軽症の肥満を伴う糖尿病患者さんにピッタリです。むしろ、これまでの薬との組み合わせにより、大幅に血糖値を低下させることができる。患者さんの中にはインスリンと手が切れる人も出てくるかもしれません」(辛院長)

年、米国糖尿病学会で空腹血糖、食後血糖、体重表されたデータでは、直重、収縮期血圧、HDL近2カ月の血糖を示すへ、コレステロールともに偽モクロビン(HbA1c)。薬群よりも有意に改善し7%未満達成率は新薬「いました」(辛院長)100%と群で44.5%、糖尿病が怖いのは、心300%と群で62.4%疾患、失明、神経障害、と良好です。しかも、空腎臓病などの合併症だ。(辛院長)

軽度肥満タイプにピッタリだが、アソコにかゆみも

気になるのは副作用です。尿中の糖濃度が増加する可能性が尿により体が脱水症状を起す可能性もある。注

どに約3タイプあり、SGLT2は、腎臓から尿中に排出された99%以上のブドウ糖を再吸収しない。

「これまでの臨床研究で立っています」(辛院長)「このままの臨床研究で報告されている主な副作用は、尿路感染症です。多尿の懸念もある。SGLT2阻害薬を使うと、高齢者や腎臓の機能があるのだ。」

日刊ゲンダイ 健康・医療ネット **充実** 見逃したあの記事、病院情報が満載! **ゲンダイ 健康 医療** 検索

「飲み始めの1〜2日は尿が多くなったという報告がありますが、それ以降は目立って増えたとはいえず、高年齢者や腎臓の機能があるのだ。」